

居住支援セミナー

～福祉と住宅をつなぐ～

1 目的

住宅セーフティネット制度は、住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障害者、など）に住宅を提供し、多様な居住支援を担う民間企業、団体等を居住支援法人として指定するとともに、都道府県や市町村に設立されてきた居住支援協議会等に新しい役割を期待し、地域における多様な住まいの確保を通じて、住宅確保が必要な多様な方々の地域での居住継続を支援する仕組みを構築しようとするものです。

本研修では居住支援法人の指定を受けた法人と行政が居住支援協議会設立の中心を担うことが出来るよう、住宅と福祉の連携について学びます。

2 日時：令和6年11月28日（木）13時30分～16時00分

3 会場：大阪府社会福社会館 4階 403（ホール）

〒542-0012 大阪府大阪府中央区谷町7丁目4番15号

4 対象：社会福祉法人職員、市町村社会福祉協議会職員、行政職員、居住支援法人職員等

5 定員：100名（先着順）

6 内容：（1）講演 13時40分～14時40分（60分）

『住まいと生活支援を一体的（包括的）に考える』

～福祉と住宅の連携による居住支援の必要性を考える～ 牧嶋誠吾氏

大牟田市居住支援協議会

NPO 法人大牟田ライフサポートセンター（居住支援法人）事務局長

（2）グループワーク 14時50分～15時50分（60分）

（3）アンケート回答 15時50分～16時00分（10分）



7 申込：右記 QR コードから申込みフォームに入力して下さい。

QR 申し込みができない方はメールにてお申し込みください。 info@shirasagien.com

件名：居住支援セミナー申込 内容：所在地・連絡先・所属（法人名）・法人の属性（市町村・施設・居住支援法人など）・参加者氏名（全員）・を記載してください。

申込締切日：令和6年11月18日 参加費：無料

8 主催：社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会・社会福祉法人桃林会



福祉と住宅をつなぐ

～課題先進都市・大牟田市職員の実践～

大牟田市居住支援協議会・NPO法人大牟田ライフサポートセンター（居住支援法人）事務局長

牧嶋 誠吾さん

1992年、民間企業を経て、大牟田市役所入庁（建築住宅課に配属）。公共施設の営繕工事や市営住宅（公共・改良）の建て替事業に加え、地域住宅政策の推進に携わる。仕事のかたわら、民間協働・多職種による民間住宅のバリアフリー化推進に取り組む。

2006年、高齢者の生活を知りたいと思い異動希望を出し、保健福祉部長寿社会推進課企画育成担当主査として配属される。地域密着型サービスの整備、実地指導、第4期介護保険事業計画の策定に携わる。

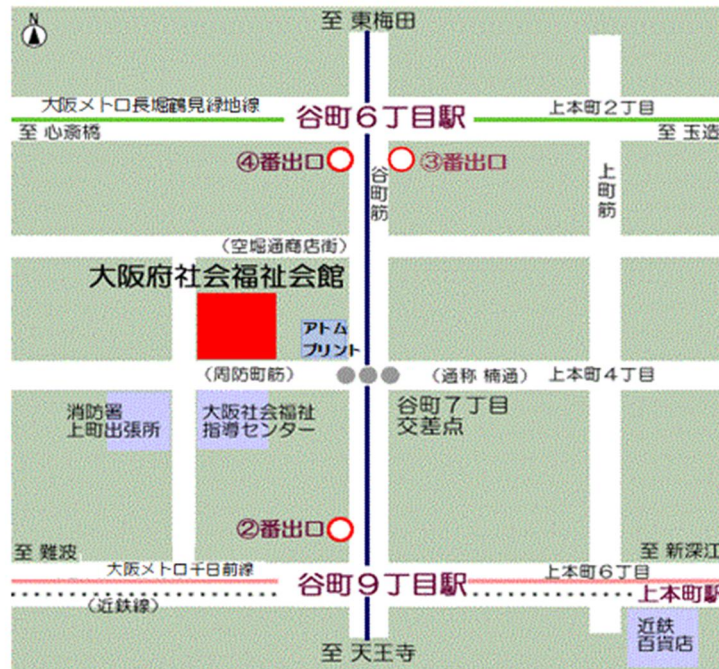
2010年、地域包括支援センターに課内異動。地域包括ケアシステムの構築に取り組む一方、高齢者の生活支援や多重人格障がい者等の虐待ケースに対応する。

2011年、建築住宅課に課長として着任。空き家対策（住宅政策）と生活困窮世帯の生活支援を目的に、住宅と福祉の多職種連携による大牟田市居住支援協議会を設立。また市営住宅の指定管理制度を導入するとともに、市営住宅のコミュニティ活性化に取り組む。

2017年、大牟田市立病院地域医療連携室次長兼総務課参事。2021年3月退職。

2021年、一級建築士事務所居住福祉空間研究所設立。大牟田市居住支援協議会・NPO法人大牟田ライフサポートセンター（居住支援法人）事務局長に就任。国土交通省住宅局安心居住推進課居住支援協議会伴走支援PJ委員、（一社）居住支援全国ネットワーク事務局次長、一級建築士。

案内図



■大阪府社会福祉会館

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町7丁目4番15号

《最寄り駅》

・地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅4番出口（谷町筋を南に280m）谷町7丁目交差点を西に入る。

・地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅2番出口（谷町筋を北に560m）谷町7丁目交差点を西に入る。（注）会館には駐輪場はありません。

※本セミナーは、「居住支援協議会設立に向けた居住支援法人等に対する相談・アドバイス等支援業務及び核となる社会福祉協議会等の発掘・育成業務」（大阪府委託事業）の一環として実施いたします。